

## 指定金融機関の実績等について

### 1 経 緯

本市の指定金融機関については、平成 26 年 6 月 18 日議決の「指定金融機関の指定について」に基づき、平成 27 年度から平成 30 年度まで、(株)西日本シティ銀行、(株)みずほ銀行、(株)北九州銀行、(株)福岡銀行（以下「4 行」という。）の順で 1 箇年（会計年度）毎に交替する方法（以下「輪番制」という。）を採っている。

平成 31 年度以降の指定金融機関の候補選定については、4 行の業務遂行実績及び地域貢献に関する実績等（以下「実績等」という。）を総合的に勘案した上で行うとしている。

このたび、4 行の実績等を取りまとめたので報告する。

### 2 実績等の報告

#### (1) 業務遂行実績

4 行とも公金取扱業務を効率的かつ安全に遂行し、能力を十分に有している。  
業務引き継ぎも 4 行とも協力して行い、4 行による輪番制についても問題がなかった。

#### (2) 地域貢献に関する実績等

4 行ともそれぞれの強みを活かして組織を挙げて地域貢献に取り組んでおり、本市の地域貢献に十分な実績を積み重ね、本市の活性化に資する意欲が高い。

(各行の実績等の概要及び具体例)

#### みずほ銀行

本市の指定金融機関の中で一番歴史が古く、メガバンクとしてのネットワークを活かした知見を発揮し、本市の地方創生事業や海外ビジネス・企業の海外戦略に向けたサポート等を行った。北九州マラソンのサポーターズを始め、わっしょい百万夏まつりなど市のイベントへの参加や協賛活動にも継続的に協力をいただいた。平成 30 年 9 月から小倉駅前商店街でスマートフォンを使ったキャッシュレスサービスの大規模実証実験を全国 2 都市の 1 つとして実施している。

- ・ 北九州市立大学「COC+」事業協力
- ・ 北九州市スタートアップの会参加
- ・ 北九州市・マネーフォワード・北九州銀行と「フィンテック普及促進に係る連携協定」に基づく活動
- ・ 「北九州市版CCRC」取組支援
- ・ 市内特別支援学校 8 校の高等部生徒を対象にした金融教育事業 他

#### 福岡銀行

旧小倉市の時代から本市の公金取扱業務を行っている。平成 25 年に本社機能を備えた社屋を建設し、北九州本部として本市の地域経済の発展に貢献している。これまで培ってきた目利き力や人、財力、充実した関係会社等のグループ総合力を活かして質の高い金融仲介機能を発揮している。北九州マラソンのゴールドスポンサーを始め、わっしょい百万夏まつりなど市のイベントへの参加や協賛活動にも継続的に協力をいただいた。

- ・ 北九州市立大学「COC+」事業協力
- ・ 北九州市スタートアップの会参加
- ・ 「小倉イルミネーション」小倉都心地区夜間景観協力
- ・ 女性創業者支援「ひなの会」
- ・ 「北九州フードチャレンジ商談会」後援・運営協力 他

#### 西日本シティ銀行

市内最多の支店網を有し、市内中小企業のメインバンクとして帝国データバンク調査で連続して 1 位の評価を得ており、市内上場企業 7 社のメインバンクとして上場支援を行った。平成 29 年に北九州市区の戦略拠点となる店舗の建替えを行い、地域の情報発信や地域経済の発展に資する取組みを行っている。北九州マラソンのブロンズスポンサーを始め、わっしょい百万夏まつりなど市のイベントへの参加や協賛活動にも継続的に協力をいただいた。

- ・ 北九州市立大学「COC+」事業協力
- ・ 女性創業者支援「ひなの会」
- ・ 「地域まるごとサポート」訪日教育旅行誘致活動
- ・ 北九州市・Sansan 株式会社との「市内事業者の労働生産性向上促進及び障がい者就労支援に関する連携協定」に基づく活動
- ・ 北九州ビルや支店等に「創業応援サロン」「就職支援コーナー」等設置 他

#### 北九州銀行

平成 23 年 10 月に北九州市に本店を置く唯一の地方銀行として開業し、市内に新たに 5 店舗を開業（到津・ひびきの・相生・城野・葛原）するなど地元銀行として存在感を出す努力を重ねている。「地域創生」を使命と考え、中小企業育成、創業支援、新規事業創出、雇用創出、地元学生の採用など本市の地域経済の活性化に取り組んでいる。ギラヴァンツ北九州の公式オフィシャルスポンサーや北九州マラソンのサポーターズを始め、わっしょい百万夏まつりなど市のイベントへの参加や協賛活動にも継続的に協力をいただいた。

- ・ 北九州市立大学「COC+」事業協力
- ・ 起業体験イベント開催支援
- ・ 北九州市・マネーフォワード・みずほ銀行と「フィンテック普及促進に係る連携協定」に基づく活動
- ・ 女性創業者支援「ひなの会」
- ・ 北九州市・福岡労働局・福岡ひびき信用金庫と「働き方改革に係る包括連携協定」に基づく活動 他

## 金融機関の概要

	みずほ銀行		福岡銀行		西日本シティ銀行		北九州銀行	
設立	H25年7月		S20年3月		S19年12月		H22年10月	
	H26年3月末	H30年3月末	H26年3月末	30年3月末	H26年3月末	H30年3月末	H26年3月末	H30年3月末
市内店舗数	3店舗	3店舗	26店舗	26店舗	34店舗	30店舗	17店舗	18店舗
市内従業者数 (パート・嘱託含む)	154人	159人	713人	655人	709人	687人	346人	289人
預金残高 (譲渡性預金を含む)	97兆9,034億円	121兆689億円	8兆7,278億円	10兆4,085億円	6兆7,390億円	8兆1,454億円	8,299億円	1兆1,663億円
うち北九州市域内分	2,760億円	2,346億円	1兆3,247億円	1兆5,837億円	1兆2,372億円	1兆7,642億円	5,052億円	7,818億円
貸付金残高	66兆8,366億円	70兆9,977億円	7兆2,453億円	9兆5,120億円	5兆6,214億円	6兆8,362億円	8,047億円	1兆1,322億円
うち北九州市域内分	897億円	1,127億円	9,202億円	1兆540億円	8,888億円	1兆2,480億円	4,350億円	5,465億円
備考	昭和38年2月10日(本市発足の日)から昭和39年3月31日まで、当時の富士銀行を本市の指定金融機関に指定。  以降、1か年(会計年度)ごとに福岡銀行と交替で本市の指定金融機関に指定。  富士銀行は、平成14年4月にみずほ銀行となり平成25年7月みずほコーポレート銀行と合併。		昭和39年4月1日から昭和40年3月31日まで、本市の指定金融機関に指定。  以降、1か年(会計年度)ごとに富士銀行(現 みずほ銀行)と交替で本市の指定金融機関に指定。		昭和53年4月1日から当時の西日本相互銀行及び福岡相互銀行を本市の指定代理金融機関に指定。  西日本相互銀行は西日本銀行(昭和59年)、福岡相互銀行は福岡シティ銀行(平成元年)を経て、平成16年10月、両行が合併し西日本シティ銀行となる。		平成15年4月1日から当時の山口銀行を本市の指定代理金融機関に指定。  平成23年10月をもって北九州銀行が山口銀行九州域内支店の権利義務を承継。	
	平成27年度～平成30年度まで4行輪番により指定金融機関に指定。 27年度 西日本シティ銀行、28年度 みずほ銀行、29年度 北九州銀行、30年度 福岡銀行							